

米国 輸出に支えられ底堅さを維持(08年2月ISM製造業景気指数)

発表日：2008年3月3日（月）

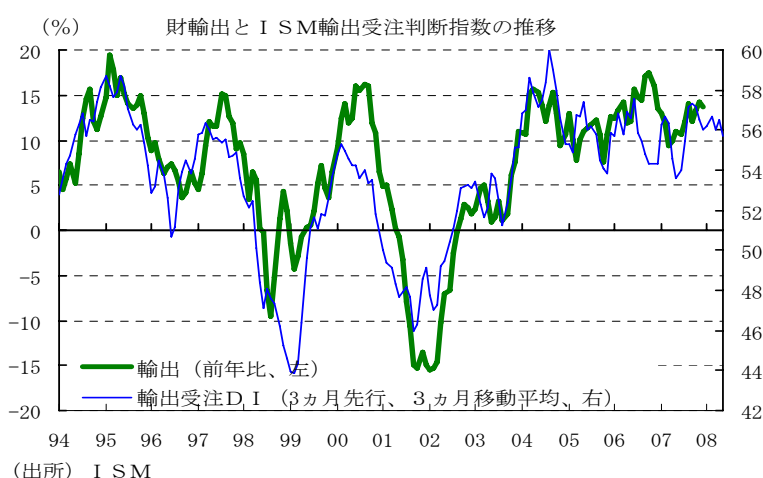
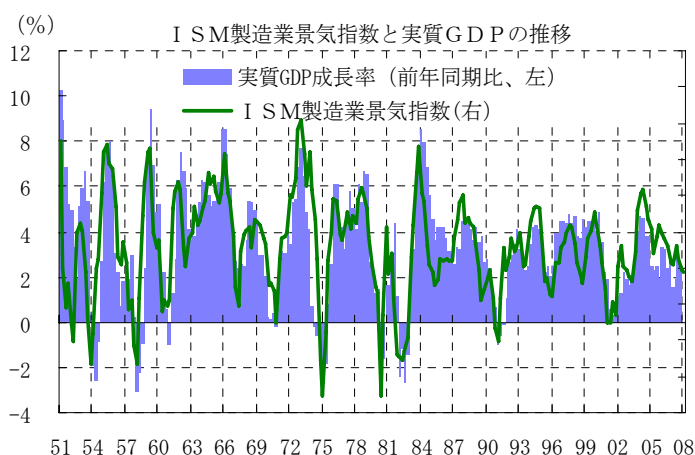
～再び50割れもリセッション入りを示す41.1を依然として大きく上回っている～

第一生命経済研究所 経済調査部
桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

- 2月のISM製造業景気指数は48.3と前月から2.4%ポイント低下、拡大縮小の分岐点である50（景気後退を示す水準は41.1）を下回り、製造業部門が縮小したことを示したが、市場予想である48.0を小幅上回った。指数を構成する5項目、新規受注、生産、雇用、在庫、入荷遅延のすべてが低下した（生産DIは50台を維持）。拡大した業種数も18業種中7業種（前月8業種）と前月から減少した。
- 住宅部門の下ぶれ、金融市場の混乱、仕入れ価格の上昇によるコスト増加圧力高まりによって国内需要が鈍化する一方、好調な海外需要を背景に輸出受注が高い水準を維持、生産を下支えしていると考えられる。雇用が一段と低下したことから、2月の製造業雇用者数の減少幅は拡大すると予想される。
- 2月のISM製造業景気指数の48.3はISMによると実質GDP換算で+2.3%成長を示すとしており、過去にリセッションに陥ったときの水準である41.1をかなり上回っている。
- 今後も低成長が予想されるもと、製造業では住宅・自動車関連部門を中心に95、98、03年の調整局面と同様の動きを続け、ISM製造業景気指数は目先製造業部門の縮小を示す水準で推移すると見込まれる。ただし、海外需要に支えられ大幅な低下は回避できると予想される。

ISM (the Institute for Supply Management) の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
07/06	53.4	58.5	62.0	50.8	45.8	50.0	53.5	68.0	56.0	54.5
07/07	52.3	56.9	54.9	50.3	47.7	51.7	52.0	65.0	56.5	54.5
07/08	51.2	54.5	54.8	50.9	45.4	50.3	50.5	63.0	57.0	52.5
07/09	50.5	53.6	54.1	51.5	41.7	51.7	51.0	59.0	54.5	53.0
07/10	50.4	52.8	50.1	51.8	46.5	50.7	46.0	63.0	57.0	47.5
07/11	50.0	52.5	51.3	48.4	46.4	51.5	41.5	67.5	58.5	47.5
07/12	48.4	46.9	48.6	48.7	45.4	52.6	43.0	68.0	52.5	48.0
08/01	50.7	49.5	55.2	47.1	49.1	52.8	44.0	76.0	58.5	52.5
08/02	48.3	49.1	50.7	46.0	45.4	50.1	45.0	75.5	56.0	47.5



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。